



「2026年度 眼鏡作製技能検定（学科）CBT 導入で地方受検が拡大」

公益社団法人日本眼鏡技術者協会は、2026年度眼鏡作製技能検定（学科試験）で初めて導入した CBT (Computer Based Testing) 方式 の受検状況を取りまとめました。総受検申込者数は 2,416 名（1 級:463 名、2 級:1,953 名）となり、初年度として十分な規模を確保しました。

■ CBT 導入による主な成果

1. 地方での受検が大幅に増加

全国のテストセンターで受検可能となったことで、従来は受検が難しかった地域で受検者が増加。北海道 109 名、福島 39 名、九州・沖縄では計 176 名（沖縄 55 名など）と、**地域格差の是正に寄与**しました。

2. 都市部の受検者は依然多いが、偏在は縮小

東京 312 名、神奈川 196 名、大阪 176 名など都市部が中心であるものの、地方の伸びにより**地理的偏りは緩和**されました。

3. 1 級受検者は都市部に集中

1 級受検者 463 名のうち、東京 64 名、大阪 37 名、愛知 34 名など、従来傾向が継続。

■ CBT 導入の効果（まとめ）

- 地方での受検機会が改善
- 受検者の地理的偏りが緩和
- 総受検者数の底上げに寄与
- 移動負担の軽減により受検しやすい環境を実現

■ 今後の取り組み

当協会は、CBT方式のさらなる普及と受検環境の改善を通じ、受検者の利便性向上と地域格差の是正を引き続き推進してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人日本眼鏡技術者協会
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-26-10-202
TEL:03-5937-7531 FAX:03-6231-0084

以上